

常任委員会審査から

審査の過程で特に議論となった点について、委員長報告の要旨を掲載

総務委員会

■総合評価一般競争入札（特別簡易型）における配点基準

－技術的な工夫の余地が小さい工事において、施工の確実性を確保するため、同種工事の経験、工事成績等に基づき、技術力及び価格を総合的に評価する－

委員 評価項目とその配点基準を見ると、過去の同種工事の実績や配置予定技術者の経験年数が多いほど加点される仕組みであり、技術面に傾斜配分されている。そのことが理解できないわけではないが、地域の循環型経済の育成、拡大を目指すなどの政策的視点から、その他の加点項目や配点バランスなどを工夫してほしい。

市 総合評価は基本的に品質確保が主眼であり、判断基準を頻繁に変えることは想定していない。変えるとしても、何を基準に置いて判断するのかは非常に難しいが、社会情勢に応じて必要があれば、見直しも考える。

保健福祉委員会

■指定小規模多機能型居宅介護事業所で障がい児サービス開始

－岡山市指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例と、岡山市指定障害福祉サービス事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例のそれぞれ一部を改正し、障がい児へもサービスを提供できるようにする－

委員 他都市では、同事業所に対し施設整備費用の一部を補助しているところもあるが、本市

ではどのように考えているか。

市 本市は、同事業所の人口当たりの整備率が非常に高いこと、また、今まで整備してきた事業所との公平性の問題もあることから、現状では補助は考えていない。

委員 条例改正によりサービスの幅が広がるというメリットを生かしていくためには、もっと現場から意見を吸い上げる機会を確保してほしい。

環境消防水道委員会

■生ごみ組成調査と普及啓発活動で食品ロスを削減

－今後、さらなるごみの減量化を図るため、食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」の削減に関する取り組みとして、モニター調査や教育プログラムの作成等を進める－

委員 この事業における食品ロス削減の数値目標はあるのか。

市 どれくらい食品ロスが出ているのかを調べないと、数値目標は出せない。具体的な調査をして目標や行動規範を作り、うまくいくようであれば、さらに広げていきたいと考えている。

委員 教育プログラムが完成した後のことをしっかりと考えておいてほしい。

市 単年度の事業で終わるのではなく、少しずつ広がっていくような事業にしていきたい。また、一つずつ取り組みを積み重ねて、その成果が市民、事業者へうまく伝わるように努力していきたい。

経済委員会

■商店街の集客力を高めまちづくり活動を促進

－商店街で空き店舗の利活用等によりまちづくり活動を行う事業を、公募による企画競争入札で委託業者を選定し実施する－

委員 受託業者は店舗を使って商売をしてもよいのか。

市 商売をすること自体は問題ないが、生じた利益は別に追加で実施した事業に充てるか、委託金額から差し引く処理が必要となる。

委員 公募期間について善処ができるのか。公平性を担保すべく努力するつもりはあるのか。

市 商店街関係者へ丁寧に説明していく。募集期間についても検討したい。



建設委員会

岡山市下水道事業負担金条例の一部を改正する条例の制定ほか33件の議案が付託され、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

市民文教委員会

岡山市区の設置並びに区の事務所の位置、名称及び所管区域を定める条例の一部を改正する条例の制定ほか3件の議案が付託され、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。